

めざす子ども像

地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

学校園と地域人材との連携協働の充実

今年度の取組紹介

*絵本の読み聞かせ

今年度、初めての企画として、ボランティアのみなさんによる絵本の読み聞かせを実施しました。週1回水曜日の朝読書の時間(8:25~35)に小学部1~3年生の教室に入って絵本を1~2冊読んでいます。

1人で教室に入って読むのはとても不安というボランティアの方の為に、先ずは見学して頂き、本の読み方や選び方の講習会を開くなど工夫しました。

読み聞かせを始めた当初こそ落ち着かない子どももチラホラいましたが、回を重ねるごとにボランティアの方が来られるのを待ちわびる様子が見られたり、『もう1冊読んで欲しい!』と言う声が聞こえてきたりして、ボランティアのみなさんの喜び、楽しみにつながっています。



*図書のクリーニング、修理、カバー付

以前から行っていた活動ですが、子どもたちに特に人気のある本の傷みが激しいこともあり、奈良市の図書館司書の方や本の修理の経験のある方から簡単な修理の仕方を教わり、本のクリーニングに併せて行いました。今年度は、延べ120名程のボランティアが参加して下さり、約700冊の本がクリーニングや修理をしてカバーを付けて綺麗になりました。

今年度のまとめ

以前より、ボランティアのみなさんから『もっと子どもたちと関わりたい。』という声があり、直接子どもたちとふれあえる絵本の読み聞かせを始めました。

先生方から『自分たちが読む時と子どもたちの表情が違う。』との声や、ボランティアのみなさんから『子どもたちが顔を覚えて話し掛けてくれるのが嬉しい。』などの感想を頂きました。

また、絵本の読み聞かせ活動に10名の新規ボランティア登録があり、地域のみなさんが学校園に関わる良いきっかけになっています。

来年度に向けて

・読み聞かせを通して、新規ボランティアの発掘や育成に努めるとともに、引き続き学校園と地域の方々とのつながりを深めたいと考えています。

・来年度は開校10周年を向かえるにあたり学校園と連携し活動を充実させ、さらなる発展につなげていきたいと思ひます

めざす子ども像

地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

地域の教育力を生かした幼小中連携教育

—豊かな心を育み、たくましく生きる児童の育成—

今年度の取組紹介

昨年度に引き続き、学校の教育活動全般にわたって地域の皆さんと生徒との交流がさかんに行われました。新しい取り組みである、熟練者による読み聞かせ講座には、図書委員会の生徒たちが参加し、これまでも行ってきた小学生への読み聞かせの技術をさらにアップグレードすることができました。

また、地域の方とともに行う環境整備活動や、さまざまな授業や放課後学習へのご支援、部活動中の見守りなどをしていただいて、生徒たちの学習活動、学校生活がいっそう充実したものになりました。

生徒たちも、自分たちが暮らしている地域への理解を深めるとともに、地域の皆さんとのつながりをいっそう深めることができました。



今年度のまとめ

今年度、中学生を対象に、ボランティアによる「読み聞かせ講座」を取り入れました。子どもたちが読書に興味を持つきっかけとなる読み聞かせ、ボランティアの方だけではなく、中学生が小学生に読み聞かせるという、開校当初から続く本校の伝統をさらに充実、発展させる取り組みです。これまで、中学生の活動を支援する、という形での支援をいただくことが多かったのですが、中学生に直接指導していただくという形でのご支援をいただけたことは意義深いことで、今後も発展的に継続していただけることを期待しております。また、学習支援、キャリア教育への支援の他、部活動の見守り活動等にも、多くのボランティアが参加してくださっています。特にキャリア教育への支援においては、職場体験学習の事業所開拓のみならず、事業所と学校とをつなぐはたらきを強化していただき、より充実した職場体験学習とすることができました。

来年度に向けて

各活動が学校の教育課程にどのように位置づけられるかをしっかり意識し、ねらいに沿った活動を設定する必要があります。そのために今後も、めざす子ども像を学校と地域が共有し、学校もボランティアもともに「良かった」と思えるよう工夫改善を進めていくことが大切だと考えています。「とみさんボランティア情報」と「ボランティアカレンダー」の配布等による広報を継続しながら、学校と地域が連携をより密にして、子どもとおとなが協力・協働する場を模索し、おとなも子どもも自分たちが「地域の中で役に立っている。」と思えるような取組にしていくために力を注ぎます。

めざす子ども像

地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

地域の教育力を生かした幼小中連携教育

—豊かな心を育み、たくましく生きる児童の育成—

今年度の取組紹介

昨年度に引き続き、地域の皆さんと児童との交流が盛んに行われました。今年度新たに、定期的に朝読書の時間に地域の方による読み聞かせを行っていただきました。

また、地域の方とともに行った環境整備活動の他、さまざまな授業や活動で見守りや支援をいただき、子どもたちの学習活動が大変充実したものになるとともに、子どもたちも自分たちが暮らす地域への理解を深め、地域の皆さんとのつながりを深めることができました。

毎日の登下校時の安全見守りや、JAの協力を得てのバケツ稲作り、地域を知る学習、障害者理解の授業での盲導犬とのふれあい等、地域の方のご協力により、豊かな体験を積み学習内容が深まりました。



今年度のまとめ

今年度、地域のボランティアによる朝の読み聞かせを取り入れ、子どもたちはお話を楽しみ読書への興味が高まりました。お話を楽しむだけでなくボランティアの方に来校してもらい、出会えること自体を楽しみにしている様子の子どものもいました。読み聞かせ本のリストを作成し、選書の工夫をしていただき、国語科の学習との連携も図りました。地域の方とともに読み聞かせについて学んだ中学生たちが小学生へ読み聞かせを行い、小中一貫としての取組が豊になりました。

これまで継続してきた環境整備支援、読書活動推進、学習支援、キャリア教育への支援の他、部活動の見守り活動等にも、多くのボランティアが参加してくださっています。子どもたちと地域の方々とが出会い、ふれあい、多くの経験をすることで、大人も子どももこの地域の中での存在意義を強く意識することができました。

来年度に向けて

各活動が学校の教育課程にどのように位置づけられるかをしっかり意識し、ねらいに沿った活動を設定する必要があります。そのために今後も、めざす子ども像を学校と地域が共有し、学校もボランティアとともに「良かった」と思えるよう工夫改善を進めていくことが大切だと考えています。「とみさんボランティア情報」と「ボランティアカレンダー」の配布等による広報を継続しながら、学校と地域が連携をより密にして、子どもとおとなが協力・協働する場を模索し、おとなも子どもも自分たちが「地域の中で役に立っている。」と思えるような取組にしていくために力を注ぎます。

めざす子ども像

地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

地域の教育力を生かした幼小中連携教育
—豊かな心を育み、たくましく生きる幼児の育成—

今年度の取組紹介

お茶会

地域在住の茶道の先生に来ていただき、お点前の仕方や立ち居振る舞いだけでなく掛け軸や季節の花などを通して日本古来からの伝統文化に触れることができました。また、地域の交流会においても保護者や地域、異校種などたくさんの方々にお抹茶を点てる貴重な体験ができました。そして、お茶会を通して「五つの心」（思いやりの心・やさしい心・感謝の心・譲り合いの心・美しさにふれる心）を養うことができました。



わくわく農園（畑・菜園活動）

望ましい食生活を送ることが困難になっている現代、保護者及び子どもたちへの食育活動の一環として、畑に詳しい地域在住の方にご指導いただき、わくわく農園の栽培活動に取り組んできました。わくわく農園を通して地域の方とのふれあいを楽しみ、食物を育てて収穫をする楽しさや調理をして食する喜びを味わい、生命を大切にする姿が見られるようになりました。



今年度のまとめ

- ・地域の方々や保護者に協力していただき、様々な事業に取り組む中で、子どもたちは、たくさんの感動体験を味わうことができました。その中で、「楽しかったね。」「もっとやってみたいなあ。」と次につながる意欲が生まれてきました。
- ・地域の行事に参加することで、幼稚園の子どもたちのことを広く地域の方々に知ってもらえる機会になりました。また、小中学校、奈良西養護学校、未就園児、保育園との交流、近大生や一人暮らしの方など様々な人とのかかわりを重ねることにより、自分の住んでいる地域が大好きになり、その中でやさしさや思いやり、相手の気持ちに気付く心が育ってきました。

来年度に向けて

- ・園児が減少していく中、地域の支援や保護者の協力をいただきながら、様々な人とのかかわりを大切にし、コミュニケーション能力の向上に努めていきたいと思っております。また、運動能力を高めたり、創造力を豊かにしたり、人を思いやる気持ちを育んだりしていくために、多様な経験を多く取り入れていきたいと思っております。